



「少数派」に組みする私が選ぶITは

先日、新しいノートパソコンを買いました。日進月歩のIT技術、久しぶりに触れた最新機種は目覚ましい進歩を遂げており、起動や反応の速さはもちろん、カーソルなどを動かすタッチパッドが劇的に使いやすくなっていて、驚く度に「ほおっ！」とか「うわー、すごい！」などと奇声を発しています。

私は16年前に初めて買ったパソコンから、今に至るまでマッキントッシュ（以下、MAC）しか使ったことがありません。それゆえウィンドウズ機種はほとんど扱えないばかりか、数年前まで「エクセル」「ワード」「パワーポイント」といった書類も開けなかったため、いちいちMACで読める形式のものに替えてもらったりしていました。

最近では、ウィンドウズ用ソフトもMACと互換性のあるバージョンが出ていますのでことなきを得ていますが、それらを駆使して自分で書類を作ったり変更したりといった作業は未だに出来ないで、関連した仕事が来ないように密かに祈っている有様です。情けない…。

MACのメーカーであるアップル社は、今や「iPhone」や「iPad」といったモバ

イル機器で世界を席巻しています。しかし、私が初めて購入した頃はもちろんパソコンしか作っておらず、かなりマニアックなユーザーが好む傾向にありました。当初は周囲にいる編集者達も全員MACを使っていたので、あまり「少数派」という実感はなかったものの、世間一般に目を向けてみると、なかなか“同志”を見つけることができないのに驚いたほどです。

そんな私が、なぜ一とMACを使い続けているのか…。その理由は慣れているということも大きいですが、何といても「シェアが小さいので出回っているウイルスも少ないこと」が一番です。また、私は幼い頃から判官びいきをしたり、少数派を美徳とを感じる傾向があり、そうした性格的なものも大きく影響していると思っています。

ところが、先に書いた「iPhone」や「iPad」をはじめとするモバイル方面ではアップル社が大きなシェアを持ち、ウィンドウズやアンドロイドといったOS搭載機種の方が少数派になっています。…さて、こうした機器を購入する際にはどちらを選んだらいいのでしょうか？使い慣れているアップル社にするか、少数派のマイクロソフト社やグーグル社のOS搭載機種にするか。

いやいや、やはり自分のニーズに合うかどうか検討したり、実際に店舗で触ってみたりして決めなければいけないだろう。などと、頭では分かっているのですが、性格的に少数派を選んでしまいそうな気も…。日進月歩かつ栄枯盛衰も激しいIT機器の世界だけに、その選択がどうなるかは予想がつかないものの、私のような「少数派」が苦勞することだけは、間違いなさそうですね。



じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。

取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」（バジリコ、07年）